

## IV 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業に対する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況はない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……該当なし

その他の有価証券……該当なし

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……最終仕入原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

器具備品……定率法による減価償却を実施している。

#### (4) 引当金の計上基準

引当金は計上していない。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

会計方針の変更はない。

### 4. 基本財産について

本法人に於いては、基本財産を定めていない。

### 5. 固定資産の増減額及びその残高

#### (1) 敷金について

敷金が返還され、これを全額、流動資産に繰り入れた。

| 科 目 | 期首残高      | 当期減少額     | 当期末残高 |
|-----|-----------|-----------|-------|
| 敷金  | 1,651,500 | 1,651,500 | 0     |

#### (2) 器具備品について

取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位：円)

| 科 目  | 取得価額    | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|------|---------|---------|-------|
| 器具備品 | 173,030 | 172,276 | 754   |

### 6. 研究助成金について

助成金額ならびに交付者は、次の通りである。

なお、この研究は担当者が病気のために、実施は次年度に繰り越された。

| 助成金の名称     | 交付者              | 助成金額  |
|------------|------------------|-------|
| 科学技術調査研究助成 | 一般財団法人新技術振興渡辺記念会 | 120万円 |